

学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳を除く）

2 年 1 組		指導者	川波 蒼		教科等	算数	
単元	単元名等		2 けたのひき算				
	目標		評価規準		← ※どちらかを選択し、 で囲ってください。		
	知識及び技能		知識・技能		○2 位数の減法の筆算の仕方を理解し、計算することができるようにする。 【A(2)ア(ア)】 ○加法と減法の相互関係を理解し、それを用いて計算を確かめることができるようにする。 【A(2)ア(エ)】		
	思考力、判断力、 表現力等		思考・判断・表現		◆2 位数の減法について、数の構成に着目し、既習の計算を活用して計算の仕方を考え、説明することができるようにする。 【A(2)イ(ア)】		
	学びに向かう力、 人間性等		主体的に学習に 取り組む態度		○2 位数の減法について、既習を生かして考えようとしたり、生活や学習に生かそうとしたりするようにする。		
	単元の学習展開（全 9 時間）						
	導入	□学習の見通しをもつ。					
	展開	□2 けたのひき算の仕方について学習する。 ・繰り下がりのない 2 位数の減法とその筆算 ・十の位から繰り下がる 2 位数の減法とその筆算					
	終末	□確かめ問題で学習内容を振り返る。					

本時 (7 / 全9時間)	ねらい	2 位数-2 位数の計算で答えが 1 位数になる筆算の仕方について、 既習の加法や減法の筆算の共通点に着目したりブロック図で確かめたりすることによって、 答えの十の位は「0」になることを説明できるようにする。【◆思考・判断・表現 ノート記述】	
	学習過程	<div>「めあて」と『課題』 「いろいろなひき算の筆算の仕方を考えよう」 『答えの十の位には何を書くとよいか』</div> <div>『まとめ』と「振り返り」 『3 - 3 = 0 だから、十の位には何も書かない』 「たし算もひき算も位をそろえて位ごとに計算することが大切だな」 「繰り上がりも繰り下がりも 10 を使っているところは同じだな」</div>	
	努力を要す状況の児童生徒に 対する手立て	【予想されるつまずき】	【必要な支援・手立て】
		十の位から 1 くり下げた状態を想像するのが難しく、どうして計算可能になるか説明するのが難しい。 計算の仕方を説明する際に、文字を使って表現することに困難さがある。	ブロックを用意し、必要に応じて活用することで、数の大きさや構成を視覚的に捉えやすくする。 ブロックを活用したものをタブレットで写真を撮って説明に使うようにしたり、筆算や絵、図を描いて説明したりするなど、説明の方法に選択肢をもたせ、自分に合ったものを活用できるようにする。